

[主催] 同志社大学 一神教学際研究センター(CISMOR)

[共催] 同志社大学 神学部・神学研究科

CISMOR 第1プロジェクト

公開講演会

日本宗教と一神教

— 宗教概念、普遍性をめぐって

【講師・パネリスト】

磯前 順一 (国際日本文化研究センター 研究部准教授)

小原 克博 (同志社大学 神学部・神学研究科教授、CISMOR センター長)

2012年1月21日(土) 13:00-15:00

同志社大学 今出川キャンパス
神学館3階 礼拝堂

- 入場無料・事前申込不要
- 問い合わせ先

同志社大学 一神教学際研究センター(CISMOR)

TEL: 075-251-3972

E-mail: info@cismor.jp

HP: <http://www.cismor.jp>

【プログラム】

- | | | |
|--------------|-----------------|----------------------------------|
| 1) 開会挨拶/講師紹介 | 13 : 00—13 : 05 | 司会 : 富田 健次
(同志社大学神学部・神学研究科教授) |
| 2) 講 演 | 13 : 05—13 : 35 | 小原 克博
“一神教と多神教をめぐる倫理的課題” |
| | 13 : 35—14 : 05 | 磯前 順一
“純粋なキリスト教は存在するのか?” |
| 3) ディスカッション | 14 : 05—14 : 30 | パネリスト : 磯前 順一
小原 克博 |
| 4) 質疑応答 | 14 : 30—15 : 00 | |

【講師紹介】

磯前 順一 (いそまえ じゅんいち)

1961年生。国際日本文化研究センター准教授。文学博士(東京大学)。宗教・歴史研究。ハーバード大学、ロンドン大学 SOAS、チュービンゲン大学、ルール大学ボッフム、チューリヒ大学において客員研究員・客員教授を務める。

著書として、『喪失とノスタルジア—近代日本の余白へ』(みすず書房、2007年)、『近代日本の宗教言説とその系譜—宗教・国家・神道』(岩波書店、2003年)、『関の思考—他者・外部性・故郷』(月曜社、近刊)、Japanese Mythology: Hermeneutics on Scripture (Equinox Publishing), 2010. Genealogy of Religious Discourse in Modern Japan (Brill, forthcoming)など。

宗教、文学、歴史などの諸実践・言説を横断しながら、人間の存在の孤独と共同性との関係を表現や信仰といった実践行為をとおして模索している。今春から1960年代のグループサウンズ、ザ・タイガースの研究において、音楽のもつ感情を揺さぶる力に着目していく予定。

小原 克博 (こはら かつひろ)

1965年、大阪生まれ。マインツ大学、ハイデルベルク大学(ドイツ)に留学。同志社大学大学院神学研究科博士課程修了。博士(神学)。

現在、同志社大学神学部教授、一神教学際研究センター長。

専門はキリスト教思想、宗教倫理学、一神教研究。先端医療、環境問題、性差別などをめぐる倫理的課題や、宗教と政治の関係、および、一神教に焦点を当てた文明論、戦争論に取り組む。現在、京都・宗教系大学院連合 評議員、日本宗教学会 評議員、宗教倫理学会 評議員、日本基督教学会幹事を務める。

著書として『宗教のポリティクス—日本社会と一神教世界の邂逅』(晃洋書房、2010年)、『神のドラマトゥルギー—自然・宗教・歴史・身体を舞台として』(教文館、2002年)、『原発とキリスト教—私たちはこう考える』(共著、新教出版社、2011年)、『原理主義から世界の動きが見える—キリスト教・イスラーム・ユダヤ教の真実と虚像』(共著、PHP研究所、2006年)、『よくわかるキリスト教@インターネット』(共著、教文館、2003年)、『キリスト教と現代—終末思想の歴史的展開』(共著、世界思想社、2001年)、『EU世界を読む』(共著、世界思想社、2001年)などがある。

【次回講演会お知らせ】

国際シンポジウム

宗教の出会いがもたらす争いと豊かさ — ユダヤ教・キリスト教・イスラームの記憶から未来へ

2012年2月18日(土) 13:00—15:30

国立京都国際会館 Room A

CISMORは今年度、日本学術振興会の「頭脳循環を加速する若手研究者戦略的海外派遣プログラム」に採択され、「多文化共生時代における一神教コミュニティ間の相互作用と対話」をテーマに事業を展開することになりました。そこで、本事業の開始を記念する国際会議を開催いたします。この会議では、プログラムを通じて研究協力のパートナーとなる海外の研究機関(米国、英国、イスラエル、マレーシア)から講演者を招いて歴史上のいくつかの場所と時代で見られた「争いと豊かさ」の「記憶」を確認し、その神学的な背景を考えたいと思います。

【ゲスト講師】

ヤフヤー・M・ミショット

ハートフォード・セミナリー(イスラーム神学) 教授

ジョナサン・マゴネット

レオ・ベック・カレッジ(聖書学) 名誉教授

ポール・R・メンデスニフロール

エルサレム・ヘブライ大学(ユダヤ思想) 名誉教授

イブラーヒーム・ザイン

マレーシア国際イスラーム大学(基礎神学・比較宗教) 教授

英語講演・同時通訳あり／入場無料・事前申込不要